

特別企画展＊なにわ人物誌

ほっ た たっ の すけ
堀田龍之助

幕末・近代の大阪に生きた博物家



貝類標本 19世紀 大阪市立自然史博物館蔵

平成30年(2018年) **4月25日水**～**6月18日月** [火曜日休館]
5月1日(火)は開館

[開館時間] 午前9時30分～午後5時(入館は閉館の30分前まで)

[観覧料] 常設展示観覧料でご覧になれます。大人 600(540)円、高校生・大学生 400(360)円

※()内は20名以上の団体制引料金

※中学生以下、大阪市内在住の65歳以上の方(要証明証提示)、
障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料

[主催] 大阪歴史博物館

[協力] 大阪市立自然史博物館

[特別協力] 東京国立博物館

[会場] 大阪歴史博物館 6階 特別展示室

[アクセス] 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口

大阪市営バス「馬場町」バス停前



大阪歴史博物館

Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32

TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662

<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

特別企画展*なにわ人物誌

堀田龍之助

幕末・近代の大阪に生きた博物家

日本における博物館の誕生は西洋文化を取り込んだ明治時代に遡ります。同時に、明治政府が推進した博物館建設は、それ以前の江戸時代に活躍した博物学者(本草学者)たちの遺産をふまえたものでもありました。そして、各地で活動していた博物家と呼ばれる人々のなかには、地道な活動を続けた人物も大勢いました。

そんな人物のひとりが堀田龍之助(1819-1888)です。幕末から明治の大阪で商家を営みながら博物学の研鑽を重ね、晩年には大阪博物館にも関わりました。堀田は和歌山の博物学者・畔田翠山(1792-1859)らと交流する中で多くの知見を得ていき、翠山の著作をもとにした博物画を数多く残しました。

その堀田が所蔵していた博物学関係の資料(堀田コレクション)が、現在大阪歴史博物館に収められています。畔田翠山関連資料をはじめ、当時の博物学を知る上で貴重な資料が豊富に含まれています。これらはいへん博物館らしいコレクションであるといえるでしょう。

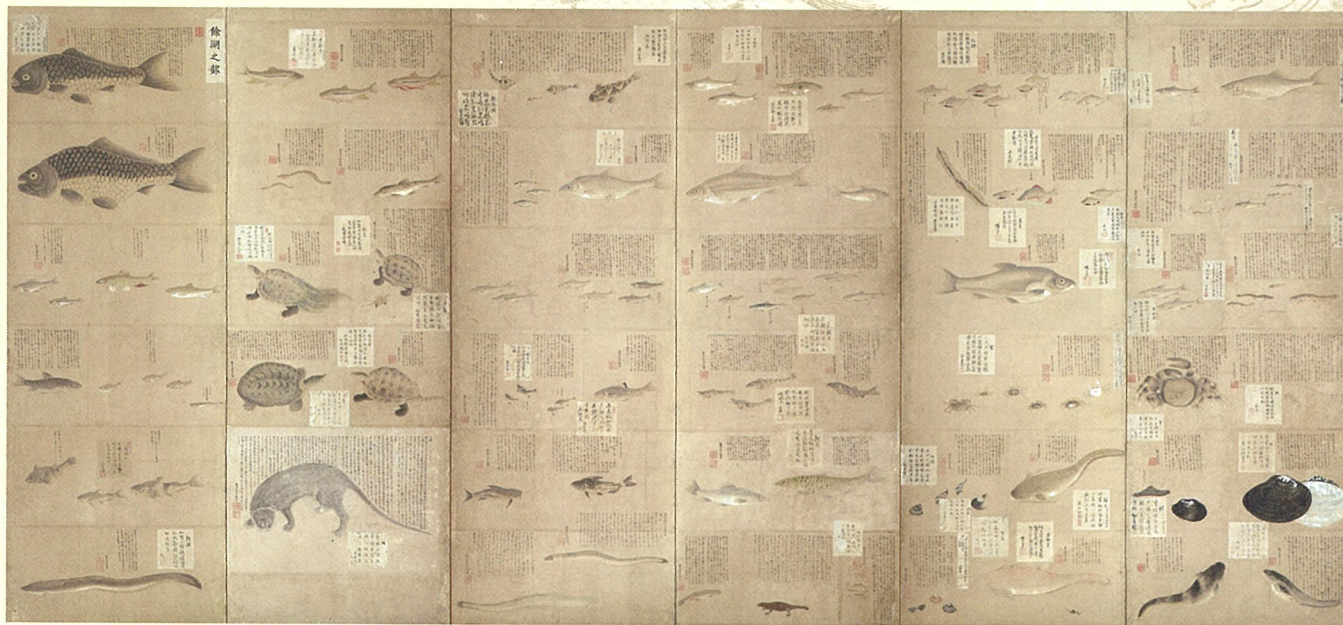
この展覧会では、堀田龍之助の旧蔵資料約100件を通じて大阪における博物学・博物館史の1ページをご紹介します、より深く博物館を知っていただく契機にしたいと思います。



「水族図譜」(写真は同第一冊より「チタヒ」) 堀田龍之助編・森閑山筆 明治13年和歌山市立博物館蔵



鳥類図(写真は「ミヅク」) 19世紀 山本溪愚筆 本館蔵(堀田コレクション)



湖魚奇観(藤居重啓撰 湖魚図証ほか貼込屏風) 六曲一双(写真は左隻) 19世紀 本館蔵(堀田コレクション)

以雇博物場掛
申付候事
但日當三拾錢遣之
明治八年八月二日
権知筆度邊丹代理
大阪府参事内海慈勝

博物場辞令 明治8年 本館蔵(堀田コレクション)

関連行事

◆ ギャラリートーク

[日 時] 平成30年 ① 5月5日(土・祝)、② 6月9日(土)
各日とも午後2時~(約45分)

[講 師] ① 佐久間大輔氏
(大阪市立自然史博物館学芸員)、
② 加藤俊吾(大阪歴史博物館学芸員)

[会 場] 大阪歴史博物館 6階 特別展示室内
[参加費] 無料(ただし、入場には常設展示観覧券
が必要です)

[参加方法] 当日、直接会場へお越しください。



電車・バスでお越しの方
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅②号・③号出口
大阪市営バス「馬場町」バス停前

大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662
<http://www.mus-his.city.osaka.jp/>